

ESG視点と事業視点の各領域のマテリアリティにおけるリスクと機会を掲載しています。なお事業視点については、経営戦略上のリスクと機会に限定して掲載しています。

ESG視点

マテリアリティ (ESG) とKPI ➡ P81～82

マテリアリティ	関連するリスクと機会 ▲リスク ○機会	主要なリスクへの主な対応策
気候変動の緩和・適応 持続可能な森林経営 (森のリサイクル)	▲異常気象による自然災害の甚大化 ▲炭素税の強化・導入、排出権取引制度の導入等によるコスト増 ▲企業の取組姿勢への評価や市場価値観の変化による売上への影響 ○低炭素製品需要の高まり ○森林吸収に伴うカーボンクレジット売買による社有林の価値向上	- 生産効率向上、省エネルギー、再生可能燃料・廃棄物燃料の活用によるGHG排出量削減 - 石炭代替としての非化石燃料・バイオマス燃料の使用拡大 - 植林の推進や社有林保全等の持続可能な森林経営 - 森林の多面的機能の維持・拡大 - 持続可能な森林経営による二酸化炭素の吸収・固定 - バイオマス発電事業の展開 - 環境配慮型製品の開発 - カーボンプライシング (特に排出権取引) 導入による機会等
責任ある原材料調達	▲サプライチェーン上で環境や社会への配慮に欠けた事例の発生 ○消費者意識変化による環境配慮型製品の需要増	「王子グループ・パートナーシップ調達方針」および「木材原料の調達指針」による、環境や社会に配慮したCSR調達拡充への取組 - 主要原材料調達の適正な一括管理 - サプライチェーン・マネジメントの徹底 (サプライヤーのモニタリング、リスク評価や多様な調達先確保等による適切な調達) - FSC®認証製品 (FSC®C014119他) の供給
安全安心な製品の安定供給	▲ネガティブな風評拡大によるステークホルダーからの信頼低下 ○安全安心な段ボール・家庭紙・衛生製品の安定供給による社会への貢献とそれに伴う企業価値の向上	- 自社製品の安定供給 - 関連法規遵守およびそれを上回る自主管理値に従った安全な品質設計・管理 - お客様への原材料 (薬品、資材) の安全性情報の提供 - 新型コロナウイルス等感染症のためのマスク・ガウン等衛生製品の供給
環境負荷の低減	▲汚染による社会への悪影響、それに伴うステークホルダーからの信頼低下 ○消費者意識変化による環境配慮型製品の需要増	- 環境規制値より厳しい自主管理値の設定 - 排水の浄化、排出ガス中の化学物質の排出抑制 - 廃棄物の削減・有効利用 - 環境配慮型製品・生分解性素材の開発
資源有効活用 (紙のリサイクル、水のリサイクル)	▲資源の枯渇による基幹事業への影響 ○水処理技術の展開	- 紙のリサイクル (古紙利用率の向上) - 取水量削減と水のリサイクル - 水処理事業の海外への展開
人権の尊重	▲人権への配慮欠如によるステークホルダーからの信頼低下	「王子グループ企業行動憲章・行動規範」、[王子グループ人権方針]の制定と運用 - 内部監査の実施 - 内部通報制度の運用 - 社内研修等によるコンプライアンスおよび人権に対する意識の醸成 - サプライヤーの人権尊重等のリスク評価
職場の安全衛生の確保	▲労働災害 ▲感染症の蔓延等による従業員の健康阻害 ○災害や感染症等への迅速な対応による従業員を始めとするステークホルダーからの信頼向上	- 安全衛生管理体制の確立と安全衛生活動の推進 - 機械・設備、作業等における安全確保の徹底 - 安全教育の推進 (VRによる危険体感教育の展開等) - 従業員の心身の健康促進 - 快適な職場環境の整備 - 新型コロナウイルス等感染症への対応
インクルージョン&ダイバーシティ	○優秀な人材の確保 ○革新的価値の創造 ○グローバル化への貢献	- 人材戦略／人材育成 - 働き方改革の推進 - ダイバーシティ推進

事業視点

有価証券報告書 ➡ <https://investor.ojiholdings.co.jp/ja/ir/library/securities.html>

マテリアリティ		事業等 (グループ経営戦略に関する) リスクと機会・リスクへの対応策
国内事業の収益力アップ	需要の変動によるリスク	国内の景気変動、人口の継続的減少は、当社製品の需要減や販売価格の低下を招き、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。 主な対応策 徹底したコストダウンによる事業基盤の強化に取り組み、産業資材分野では、素材・加工一貫型のトータルパッケージングの推進によって製品の開発力を強化し、需要の変動影響を抑制しています。他の分野でも、脱プラ化に対応する紙製品や新素材の開発にも取り組んでいます。
	成長のための機会	海外の高い経済成長が続く地域では、生活様式の高度化に伴い、家庭紙需要が高まっています。また、消費の多様化による物流の増大に伴い、段ボール等梱包資材の需要が増加しています。こういった国々における家庭紙、段ボール事業に積極的に投資していきます。
	国際市況変動によるリスク	チップ・重油等の原燃料調達価格は、需要動向や各国の貿易政策の変化、国際紛争の影響を受け変動します。また、各種パルプの販売価格は国際市況と連動します。これらの価格変動は、当社グループの業績に影響を及ぼします。 主な対応策 原燃料調達関連市場のモニタリングや多様な調達先の確保に努め、グループ横断的に、有利かつ安定調達を推進しています。古紙については、古紙リサイクルシステムの維持に努め、当社グループ各社との連携を強化し、古紙の安定調達を図っています。
海外事業の拡充	海外事業に関するリスク	当社グループは、グローバルな事業進出をすすめてきました。これらの地域の一部では、政治・社会的な不安、経済成長の鈍化、法規制、税制の改定、金融情勢の不安定化、人権問題などのリスクをはらみ、当社グループの海外事業戦略、将来計画に影響を及ぼす可能性があります。 主な対応策 進出国とその周辺国の政治・経済・社会情勢に関する情報収集を行う地域統括会社を設置し、あらゆるリスクに備えています。事業面では広域に展開することでリスクを分散化し、金融面では、デリバティブによる為替影響が緩和し、グループファイナンスにより、手元流動性を確保しています。人権問題では「王子グループ人権方針」のもと、人権尊重の取り組みを進めています。
	成長のための機会	高い経済成長を続ける地域、国々への進出は、当社グループのさらなる成長に向けた事業基盤の拡大・強化に貢献します。当社グループは、新興地域における当社事業での技術的な優位性を活用した事業展開や、海外売上高40%を目標として海外進出を進めています。
イノベーションの推進	イノベーションの進展による構造的な需要の変容に関するリスク	新型コロナウイルスの拡大がテレワークを普及させ、DX化が進展し、人々の生活様式を大きく変容させています。グラフィック用紙市場における需要の変容がさらに進むことによって、当社グループの業績に想定を上回る影響を及ぼす可能性があります。 主な対応策 市場が縮小している国内事業は、生産体制の再構築をすすめ、キャッシュ・フローの確保に努めています。得られたキャッシュは、国内外の成長市場における事業への投資や、新素材の製品開発に振り向けています。
	成長のための機会	DX化の進展により、モバイル機器など、多様な電気機器の需要が増加しています。当社グループのフィルム事業はスマートフォン等の精密機器や電動車にも採用され、急成長しています。また、当社グループでは、他社との提携によって弱みを補完し、強みに転換する取り組みを進めています。具体的には、ノーカーボンを始めとする三菱製紙との業務提携や、石塚硝子との紙パック事業などです。